

福井大学生のための

創造力、実践力。
国立大学法人
福井大学

ふくだいプレス

特集 学生×教職員

私たちの宣言

がんばれ、就活！
大学生の君たちに
今、伝えたいメッセージ

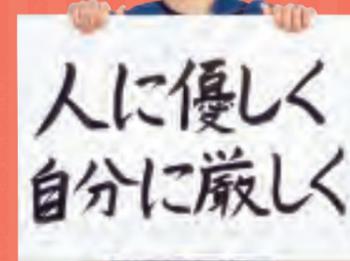
学生広報スタッフ企画 We♥福大
福大Life

VOL.8
2012
JANUARY

私たちの宣言



医)看護学科3年
小林崇明さん



周りに対して優しくする中で、自分にも優しくなって甘やかしてしまわないように心がけていきたいです。

工)建築建設工学専攻
吉田伸治先生



書くと文字が
ブレそうなので、
あえてグラフィックで
表現!

昨年はあらゆるものが「プレプレ」の年でした。今年は周囲の「プレ」に負けない心を持ち続けるのが目標です。

工)機械工学専攻
伊藤隆基先生



「縁=人との出会い」を大切に。今の研究室のメンバーにしかできないことに取り組んでいきたいです。

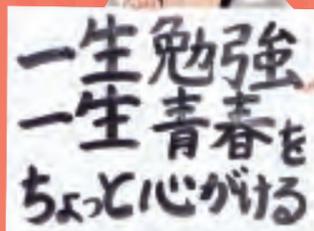
医)医学科3年
新野保路さん



試験や勉強、部活と忙しいこともありますが、なにごとちゆとりをもって、楽しく取り組んでいきたいです。

チャレンジ精神を
持って、
若さも保ちたい!

医)看護学科
成人・老人看護学領域
森祐子先生



現在、修士課程で勉強しており、その勉強がこれからの人生の糧になると思って、楽しみながら頑張りたいです。

医)医学科
脳脊髄神経外科学領域
菊田健一郎先生



患者さんのことを考えると難しい顔になりますが、学生との時間は、いい気分転換になっています。

教)学校教育課程2年
清水綾さん



今年こそ海外旅行に行こうと思っています。カメラを片手にニューヨークやイタリヤに行きたいです!

教)地域政策講座
三浦麻先生



一步一步の積み重ねである日々を大事に、じっくりと時間を意識して過ごしたいと思います。

工)建築建設工学3年
高瀬博さん



就職活動も始まる今年は、何にでも活発にチャレンジしていきたいです。資格取得にも取り組みたいです。

松岡キャンパス学務室
医学教育第一係
北島弘一さん



最近物忘れが激しくて…いつも会う学生さんの顔をしっかりと覚えられよう、努めます!

教)地域科学課程1年
大木怜さん



昨年よりも生き生きと、行動的な1年にしたいです。学生広報スタッフとしてもキトキトな情報を届けていきたいです。
※キトキト=新鮮な(富山の方言)

教)芸術・
保健体育教育講座
湊七雄先生



いろいろな問題が起きたとき、夢は解決への力になります。夢をもってエネルギーに満ちた1年にしたいです。

めざせ
大和撫子!



教務課
加藤真生さん

どんなときも笑顔で、いろいろなことに挑戦していきたいです。周りのみんなも明るくてきたいいなと思います。

工)物理工学科3年
酌井友香子さん



富士山登山に
挑戦したいな。

どんなことがあってもポジティブに、大学生活最後の年を明るい1年にしたいです!

新たな年がスタートしました。今年はどうな1年にしたいですか。学生、教職員みなさんに、2012年の宣言をしていただきました。自分らしい1年にするための、あなたの「宣言」は何ですか?

工)……工学部、大学院工学研究科
教)……教育地域科学部
医)……医学部



革新的 画像医学教育への挑戦

～学生と教員でめざす画像医学教育の先進モデル～

医学部医学科分子病理学領域 内木宏延先生

医学部医学科5年 横川大樹さん

医学部医学科5年 柳川愛実さん



視ることは医学の基盤 画像を使った医学教育

内木 二人は病院実習中だと思いますが、いかがですか。

横川 実習では患者さんと接する機会もあり、とても勉強になっています。

内木 患者さんから学ぶことはたくさんありますね。診断するときには、何をもちに診断することが多いと思いますか。例えば、風邪を引いて病院へ行くこと、喉や下まぶたを診察されます。あれは何をしているのでしょうか。

柳川 喉に赤みや腫れがあるかや貧血がないかどうかなどを確認しています。

内木 つまり、診断に重要な情報を「目で見て」確認しているんですね。このように病気を診断する上で医学的根拠となる情報は、視覚に依存する部分が大いといえます。聴診や触診などが

らも重要な情報が得られますが、情報量の多さと処理能力の面で視覚はとても優れています。

横川 解剖実習や、顕微鏡での組織実習など、視覚を通して学んだ分野がたくさんあるように思います。

内木 そこで、医学部では視覚的情報が医学の基盤となる重要な情報であることを踏まえ、「革新的画像医学教育プロジェクト」をスタートさせました。機能画像やMRIなど、画像医学に

統合的先進 イメージングシステムによる 革新的医学教育の展開

大学で蓄積してきた画像医学の歴史や知見をもとに、IT技術を駆使して革新的な画像医学教育を行うプロジェクト。学生向けの画像医学教育と研究・教育ツールとしてのオートブシー・イメージング(Ai:死後画像診断)の実施を目的とする。

において日本をリードしてきた歴史をもつ福井大学で、基礎・臨床の枠を超えた幅広い教育を行っていくというねらいがあります。

福井大学が世界に誇る 革新的医学教育の実践

内木 このプロジェクトは、先進的な画像医学教育を実践するためのシステムづくりと死因を解明するためのオートブシー・イメージング(Ai)を両輪として進めてきました。システム活用のわかりやすい例として「解剖」が挙げられます。解剖実習室のネット



有意義な学びができたのではないかと思います。今の環境で学べる学生が羨ましいです。

内木 実際このような画像教育を実践している大学はほとんどありません。他大学からシステム見学に来られることもあり、大変誇れるシステムです。この環境で学べる福大生は、とても恵まれていると思います。また、このシステムは画像を疾患ごとに閲覧したり、一人の患者さんの症例を系統的に並べて見たりすることができます。加えて、画像を見て診断するテスト問題や見落としやすい症例集などのソフト面も充実させています。

学生の積極的活用が 教育システム充実の鍵

内木 今後一層の充実のため、ぜひ皆さんにはシステムを活用してもらいたいですね。

柳川 私たち学生は、そのシステムを

どのように活用することで、よりよい学びに繋がられますか。

内木 学生の皆さんには、システムをどんどん利用してもらうのが一番です。問題形式になっているので、正答率によって難易分類ができたり、教員が問題ごとに学生が書き込んだコメントや質問を確認したりすることで理解度が把握でき、学生への教育に還元できます。講義のような方向性ではなく、学生の反応を教員にフィードバックできる「双方向性」であることが特徴です。

横川 僕たち学生も参加型のシステムなんです。先ほど少し使用させていただきましたのですが、問題形式で楽しく学べ、教科書によくある異常な状態だけが示されているものと違い、正常な状態と異常な状態の違いを比較できる点がわかりやすかったです。教科書を開くよりも勉強しやすくなるので、自宅でも利用できる環境になればいいなと思います。

内木 教科書など従来の学びに比べ、今の学生にとっては取り掛かりやすいかもしれませんね。やる気さえあれば、



学生の間に目にする画像の量は、システム導入前と比べて格段に増えます。学習意欲に比例して多くの画像を目にすることができるといわれています。

横川 私と比較できる点が理解しやすかったです。異常な状態と同時に正常な画像も確認できるこのシステムを活用することで、自分で異常を発見する力が身に付いてくると思います。

内木 自分の目で見て確認し、たくさんの情報を得ることが理解に繋がっていきます。診断における画像や視覚の重要性も、実感できていると思います。このシステムを良くするのは、学生の積極的な活用とフィードバックです。教員に質問しながら皆さんが知識を深めているのと同時に、その過程がシステムに蓄積されていくことで、教育システムとしての質も向上していきます。もっと素晴らしいシステムとなり、画像医学教育のスタンダードとなるよう、学生と教職員、一緒に頑張っていきたいと思います！

放射線医学領域 木村浩彦先生(中央)より
イメージングシステムの操作指導



ワーク環境を整えてPCを自由に使えるようにし、解剖するご遺体のAI画像を実習中にも確認できるようにしました。そのことで、これまで学生にとって理解の難しかった、臓器の配置の深さや三次元的なイメージが養われることを期待しています。

横川 自分の解剖実習時に同じ環境で学べたらもっと

子どもの遊び空間を考える

子どもの発達を支える生活環境

子どもが発達していく上で子どもが過ごす空間はどのように影響するのか……。私はこの点に着目し、その中で子どもにとって最も重要である生活環境の中でも「遊び空間」と「保育空間」について調査しています。

家型保育の重要性

乳幼児期の子どもたちが日常生活を送る保育園は生活施設であるべきで、子どもが安心して過ごせるように家のようなしつらえ(「家」型保育)が適切であると考えています。また、少子化や地域コミュニティの希薄化によって、日常生活の中で世代間交流がでないことから、「一般家庭のように」5歳の異年齢児が共に生活できる「きよ



秘密基地あそびをする子どもたち

うだ保育」を推奨します。私は、これらの条件を満たす滋賀県の保育園で、子どもたちが実際にどのように生活し、人間関係を経験するのかを調査しています。



附属地域共生プロジェクトセンター
栗原知子 先生

遊ばなくなった子どもたち

この園の子どもたちが1日に経験する集団の約7割は異年齢で構成されています。同年齢同士で発達年齢に合った遊びを共有することや目標に向かって協力し合うことは、異年齢集団で「食事」などの生活行為を共にすることや遊びの中で様々な違いにふれることで「生きる力」がどれだけ育まれるかにかかっています。人間の基礎は子ども時代に形成され、この時期にいろいろな人間関係を経験することで豊かな人間になっていくと考えます。

子どもにとって豊かな人間経験を得る最大の機会は「遊び」にあると考えます。しかし、「子どもが遊ばなくなった」と言われ始めてから40年。その状況は改善されていません。昨年、小学生に遊びに関する調査をしたところ、10年前に比べ、平日の遊び時間は平均1時間の減少、また「遊ばない」という回答が急増しました。遊び欲のある子どもは、塾や習い事で忙しくても何でも意欲的に取り組んでいるのに対し、遊びに関心がない子どもは何にも興味を示さないこともわかりました。遊びはモチベーションを最も高める行為であり、失敗や挫折の経験、それを乗り越える力を楽しみながら、且つ自由に学んでいく行為でもあります。そして、私たち大人がこの遊べる空間や生活環境を保障していかなければなりません。

自由を獲得するために

自分らしく自由に生きる事ができるのはとても幸せなことです。自由ほど尊いものはありません。よく、「何のために勉強するのですか?」と質問されますが、勉強して知識を得ることができれば、それらのツールを使って自由に動けます。自由を獲得するためには、まず勉強をしなければいけません。しかし、まだ勉強したくないという学生さんには、まず「思いっきり遊びましょう」と伝えたいです。遊びながら「これだ!」と興味のあることがみつければ、勉強する意味と楽しみが見えてくるはずですよ。

ハマっていること★



世界の名建築をLEGOで再現し、集中すること3時間。うん十年ぶりにLEGOに夢中になりました。

学長メッセージ 大学の宣言

学長 福田 優



福井大学がどのような理念や目標を持って教育・研究・社会貢献等に努力し、地域及び国の「知の拠点」として、その機能強化に努めているかを、この機会に学生諸君にもう一度、確認して貰うことは意義ある事と考えます。特に平成23年度は「教育改革元年」と位置づけ、教育の抜本的改革と学生アメニティの向上を積極的に進める事としています。教育・学生担当の寺岡理事を中心に高等教育推進センターで教育改革に向けた活発な議論をして頂いています。共通教育の改革、学生支援の強化、とりわけメンタルヘルスの為の相談システムの強化等、具体的な対応等が提案され、実行に移されて

います。施設関連では、文京の体育館の修理、シャワー室の改修、学生食堂の改修等が行われました。第三次補正予算で学生食堂・学生ホールの一体的改修が認められ、今後、それらに大学会館も加えて、語学センター、国際交流ラウンジ、学生総合相談室等の一体化整備が計画されています。松岡キャンパスでは14室のグループラボが増築され、医学図書館との一体化が図られ、学生の自主的・自立的グループ学習の為の環境が整備されました。文京・松岡両キャンパスで、このような学生交流の場が設けられる事は大変大きな意義があると考えます。

人は一人では何も出来ません。異なる人々の多様な個性と交わることで、協調性・コミュニケーション力が鍛えられ、タフな福井大学生が育成されるものと信じます。国際交流ラウンジでは、留学生と日本人学生の日常的な異文化交流により、グローバルなコミュニケーション力が養われることを期待しています。福井大学は下に述べた宣言と第二期の中期目標で社会に約束した目標を着実に実行してゆく義務があります。国立大学法人を取り巻く社会情勢は益々厳しさを増しています。が、学生・教職員全員が一致協力して機能強化に努め、個性輝く大学にする努力を致しましょう。

福井大学の理念

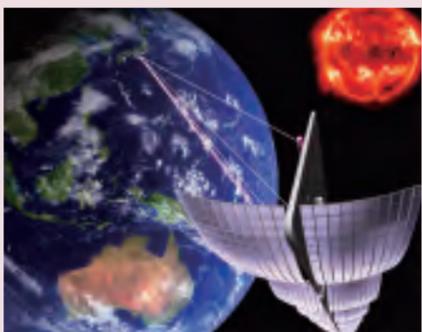
福井大学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、独創的かつ地域の特色に鑑みた教育学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、専門医療を実践することを目的とします。

福井大学の長期目標

- (1) 福井大学は、21世紀のグローバル社会において、高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育成します。
- (2) 福井大学は、教員一人ひとりの創造的な研究を尊重すると共に、本学の地域性等に立脚した研究拠点を育成し、特色ある研究で世界的に優れた成果を発信します。
- (3) 福井大学は、優れた教育、研究、医療を通して地域発展をリードし、豊かな社会づくりに貢献します。
- (4) 福井大学は、ここで学び、働く人々が誇りと希望を持って積極的に活動するために必要な組織・体制を構築し、社会から頼りにされる元気な大学になります。

宇宙のエネルギーを地上で活かす —宇宙太陽光発電—

高効率なクリーンエネルギーを探る
環境問題が浮き彫りになるにつれて、水力、風力、太陽光といった自然エネルギーの利用は必須のものとなってきました。中でも太陽光発電は一般家庭でも設置できるパネルが開発され、すっかり生活の中に溶け込んでいます。ところが、このエネルギー源は自然を相手にしているので、日照時間が短かったり、積雪が多く、天候が不安定な地域では十分なエネルギーを得ることができません。しかし、地球の外へ飛び出した宇宙であれば、天候や大気の影響を受けることがない上に、24時間昼夜を問わず、年間365日間ずっと太陽光のエネルギーを受けられることができます。つまり、太陽光エネルギーの利用率を比較すると約10倍程度宇宙の方が



太陽光発電システムのイメージ

宇宙からエネルギーを得るために
私の研究室では、「レーザーによる宇宙太陽光発電」の開発を宇宙航空

が有利であり、地上での利用システムに比べて高い効率で安定した発電システムの実現の可能性が広がります。

また、このレーザー光のエネルギーの強さは、太陽光エネルギーの5倍、10倍にもなりますが、大気圏通過時に、鳥や航空機に影響を与えることはありません。

二酸化炭素の排出もないので環境にやさしく、エネルギーの乏しい日本にとって期待されるシステムとなるはず。また、システム高効率化と装置規模のコンパクト化を実現するため、宇宙空間上で太陽電池パネルを使用せずに、直接太陽光を指向性の良いレーザーに変換し、地上基地まで伝送するシステムも考案・設計しています。

実現にはロケット打ち上げに伴う軽量化や高度な技術が求められ、難し

今ハマっていること★

休日は、音楽三昧。中・高校生時代からの趣味のオーディオ。昨今は、真空管アンプとアナログレコードの世界にドップリ。性能では語れない摩訶不思議な生々しく濃厚なサウンドステージに魅了されています。



大学院工学研究科
原子力・エネルギー安全工学専攻

金邊 忠 先生

研究開発機構（JAXA）と進めています。

太陽光のエネルギー密度を500倍程度に引き上げる集光板衛星を赤道上空およそ3万6千キロメートルの静止軌道上に打ち上げ、集光板衛星が宇宙空間で受けた太陽光をレーザー光に変換します。それを地上に向けて放射することで、大気圏内を通過させ、地上で受けたレーザー光を太陽光発電システムなどで発電するものです。このシステムで想定している電力は100万キロワットでこれは、原発1基分の発電量に相当すると考えています。この同様のシステムが50基ほどあれば、日本全体の平均電力を確保することができそうです。

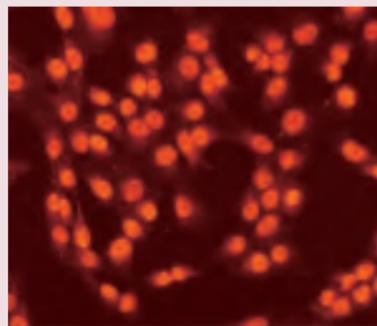


地上実証用実験装置

細胞の分化の秘密に迫る

**体のバランスを保つために
不可欠なホルモン**

主に卵巣や精巣、副腎で作られるホルモンがどのように作られて、機能しているのかを研究しています。卵巣で作られるホルモンは、女性らしさを保ち、精巣で作られるホルモンは、男性らしさを保ち、特に副腎で産生されるホ



細胞内に存在する蛍光染色された転写因子 C/EBPβ

**研究成果を
再生医療に活かす**

体の中でホルモンがどのように作られているかの研究を進める中で、ある遺

ルモンは、体のバランスを保つために働き、生体内の代謝を調節し、免疫機能などにも重要な役割を担っています。副腎でホルモンが産生されない先天的な異常は命にかかります。生きていくには、本来体内で作られるべきホルモンを外から注射を打つなどして、一生補充していくことが必要です。もともと産婦人科で研究していた事もあり、妊娠の過程でも重要な働きを担うホルモンが具体的にどのように働くのか、また、1個の卵子からさまざまな機能を持つ臓器などの細胞へどのように分化していくのかという興味もあって、この研究を始めました。

**自分の興味を
追及するということ**

医学部で学ぶ学生は、基礎が臨床かという大きな選択肢があります。多くの学生は患者さんと直接接し、病気を治していく臨床現場を選ぶことが多いかと思いますが、その中で、治療の限界を感じたり、学術的な興味をそそられることがあると思います。そのときに改めて研究をすることは、私は良いと思います。自分の興味を追求できるだけでなく、医学の発展に大きく寄与するこ

今ハマっていること★

今年ですが、今年の夏初めて恐竜博物館に行き、そのすばらしさにハマってしまいました。すでに年間パスポートも購入しました。1500円で、常設展、特別展も観ることができ、興味のある方にはオススメです。

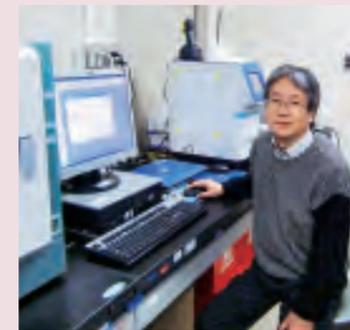


医学部医学科分子生体情報学領域

宮本 薫 先生

伝子がうまく働かないとホルモンが産生されないことがわかりました。この遺伝子の働きを利用して、多くの種類の細胞に分化する機能を持つ骨髄間葉系幹細胞から、ホルモンを産生する機能を持つ細胞を分化させることに成功しました。これを発展させ、万能細胞のES細胞をホルモン産生細胞へ分化させることにも成功しています。この成果をさらに発展させていければ、先天的にホルモンが産生されない疾患を持つ患者さんにホルモン産生細胞を移植することで、その細胞が定着し、細胞分裂する中で、体内でホルモンが産生されるようになる治療効果が期待されます。しかし、これにはまだまだ問題が多くあり、二つ二つ解決していかなければなりません。私たちの見通しでは、今世紀中にこのような再生治療が出来るようになるのではという希望を持ってやっています。まだまだ道半ばというところです。

とがあるかもしれませんが、また、工学系や化学系の学生さんでも基礎医学の分野に入ってもいいと思います。自分のやりたいこと、やってきたことに自信を持って、既存の考えにとらわれず自分のオリジナルな研究というものを見つけたいと願っています。



研究室にて

目指せ世界一！ カヌー・ポロ日本代表 アジア大会優勝

工学部機械工学科3年の宮尾崇宏さん、知能システム工学科1年の堀江優樹さんがカヌー・ポロ日本代表（代表10名のうちの2名）として、アジア大会に出場し、見事優勝しました。アジア大会は昨年9月30日〜10月2日、イランで開催されました。



アジア大会のチームメンバーと

県みよし市でシニア代表と練習試合をするなど強化合宿をしました。アジア大会では、2戦勝ち抜き、イランとの最終戦では、イラン会場での試合とあってアウェーの厳しい雰囲気の中でしたが、日頃の練習の成果が実を結びました。今年9月にポーランドで開催予定のカヌー・ポロ世界大会に向け、宮尾さんは「外国の選手の体格に圧倒されたので体力作りに励みたい」、堀江さんは「世界選手権でスタメンに選ばれるように頑張りたい」とそれぞれ意気込みを語ってくれました。



学長報告会にて。宮尾さん(左)と堀江さん(右)

研究室配属で 初の海外研修

医学部医学科3年宮永光次さんは、3年生前期に行われる「研究室配属」で海外研修を選択しました。通常は、医学部内の基礎研究室に所属し、20日間程度医学研究の実習をします。かねてから海外留学に興味があった宮永さんは、この機会を活かせないかと医学部微生物学領域の定清直先生に相談したところ、インドネシアのアイランガ大学附属熱帯病研究所への海外研修が実現しました。アイランガ大学には、日本で感染症研究に実績を持つ神戸大学



研修先のアイランガ大学熱帯病研究所



ともに学んだヤングドクターたちと宮永さん（中央左）

との感染症研究拠点があり、宮永さんは、研究所で下痢症、肝炎、 Dengue 熱チームでの実験に加え、国立病院での臨床研修などに参加しました。

日本とインドネシアが共同で進めている感染症研究の最先端を目にし、現地を知り合ったヤングドクターたちと交流したことで、自分の中にあつた医学に対する考え方や姿勢などにさまざまな変化があつたようです。

詳しい研修報告は、本学ホームページ「FACE」に掲載しています。



がんばる学生を紹介

掲載されている方の所属、学年等は取材時のものです。

自分のチカラになる 資格取得のススメ

大学院工学研究科情報・メディア工学専攻博士前期課程2年の加藤優一さんは国家資格等の中でも難関と言われている資格を学部生の頃から多数取得してきました。

加藤さんが資格に挑戦するようになったのは、2年生の時。就職に備えて何か勉強をしたいと思ったものの、何をどうやって、勉強していいかわからず、とりあえず資格の参考書を手にした時に、初心者、専門外の人でも分り易く、勉強がしやすいことに気づいたことがきっかけです。いわゆる数を集める資格マニアではなく、専門分野である情報系、無線系、通信系の3本柱を軸に、技術力向上につながる資格を選んで取得し、幅を広げ



るために文系等の資格を受験しています。勉強の方法としては、評判の良い資格対策本を選び、じっくり読んでから過去問を解く、また本を最初から読むことを繰り返しているそうです。

加藤さんは「福大生のみならずには資格以外にもいろんなことに挑戦して欲しい。でも、何をしたいかわからない場合、資格取得は目的がはっきりしているの取り組みやすい。必ず自信ができ、そこから新しい方向性が見えてくるはず」と話していました。

取得資格一覧

- 初級システムアドミニストレータ
- 基本情報技術者
- 情報セキュリティアドミニストレータ
- 応用情報技術者
- 情報セキュリティスペシャリスト
- ネットワークスペシャリスト
- 情報検定 情報活用試験 1級
- 情報検定 情報システム試験 全スキル
- 危険物取扱者(乙種第1類)
- // (乙種第2類)
- // (乙種第3類)
- // (乙種第4類)
- // (乙種第5類)
- 危険物取扱者(乙種第6類)
- // (甲種)
- 消防設備士(甲種第4類)
- 第一級陸上無線技術士
- 第一級陸上特殊無線技士
- 第一級アマチュア無線技士
- 第二種電気工事士
- 工事担任者 AI・DD総合種
- 電気通信主任技術者(伝送交換)
- 国内旅行業務取扱管理者
- 漢字能力検定 2級
- 秘書技能検定 2級

総合図書館 ラーニングアドバイザー活動中!

文京キャンパスの総合図書館では、10月からラーニングアドバイザー(LA)が活動しています。現在は、学部4年生、大学院生の8名で、勉強の進め方やレポートの書き方、就職活動のアドバイスなど学生からの相談なら何でも受け付けています。2月末までLAを委嘱されている大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程2年の鈴木亜里紗さんと教育地域科学部学校教育課程4年西川真代さんは、これまで図書館は、調べものや本を読むなど、一人で静かに過ごす場です

た。LAは、始まったばかりですが、このサービスを知ってもらい活用してほしいと思います。私たちが声をかけることもあるかと思いますが、話を聞いてもらえるところらしいです。また、皆さんからも相談でも何でもいいので気軽に話しかけてほしいです」と話してくれました。LAは月曜4限、火曜の3限、水・金曜日の3、4限目が活動日。LAにはそれぞれ得意分野があり、どのLAが担当するかは、総合図書館の掲示板で確認することができます。



オレンジのベストが目印です! LAの鈴木さん(左)と西川さん(右)



委嘱式の様子

Check!

落ち着いた勉強できる図書館は圧倒的人气。個別に勉強できるスペースがたくさんあるよ。総合図書館の蔵書数は約20万冊！書庫の本を見たいときは、学生証を使えば自由に入れるんだ。新聞や雑誌のバックナンバーも充実しているよ。医学図書館の蔵書は約12万冊で、なんとその8割が医学書なんだって！24時間使えるし、休憩スペースもあるのが嬉しいね。福井大学生に人気の図書館、もっと活用してみよう！

Pick Up! こんな意見もありました。



▲文京キャンパスのメインストリートは実はイチョウ並木！鮮やかな黄色に彩られます。ただしニオイは……(´_`)



▲松岡キャンパスの附属病院にはドトールコーヒーがあって学生にも患者さんにも人気♪



▲トイレが綺麗で落ち着くとの意見も。

Q7. 福井大学生のお気に入りスポットは？



【文京キャンパス】

- 1位 総合図書館 … 21%
- 2位 学食 (Cafeteria 味菜) … 13%
- 3位 研究室 … 8%



【松岡キャンパス】

- 1位 医学図書館 … 27%
- 2位 情報処理室 … 6%
- 3位 ロビー … 6%

プライベート編

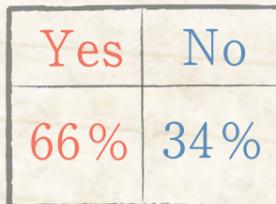
Q8. 休みの日の過ごし方は？



Check!

晴れの日が少ない福井県だけに、インドア派の方がやや優勢？インドア派は、読書、勉強、パソコン・インターネット、家事など。アウトドア派は、友達と遊びに行く、ショッピング、ツーリングに出かけるなどの意見があったよ。また、インドア・アウトドアに関わらず「休日アルバイト！」という人も多くいたね。

Q9. アルバイトしてる？



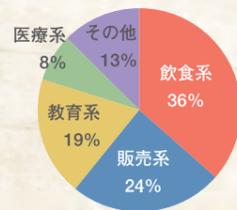
Check!

アルバイトをしている人が割合が大きいね。アルバイトは社会経験になる反面、勉強するための時間が少なくなってしまう場合もあるから、やる・やらないは自分にあった選択をしたいね。

Q10. アルバイトの種類は？

Check!

定番の飲食や販売が大きな割合を占めているよ。医療系のアルバイトが8%も!? 医学部のある福井大学ならではの結果だね。大学生には家庭教師や塾講師などの教育系のアルバイトも人気だね。



Column

福井大学にこんなバイトがあるって知ってた？

その名も「CCS」

福井大学生限定のアルバイトがあるんだよ。CCSはキャンパス内の除草や側溝掃除などをして構内を綺麗に保つ活動をしているんだ。

この他にも、ラーニングアドバイザー(総合図書館)、入試広報スタッフ(入試課、松岡キャンパス学務室)、ピアサポートスタッフ(保健管理センター)などがあるよ。

▲CCSのみなさんの除草の様子。学内の美しさはいろんな人たちに支えられているんだね。



We Love 福大 Vol.4 福大Life

Q4. お昼ご飯はどこで買ってる？



Check!

学年が上がるにつれ、学食よりも売店を使うことが増える傾向にあるみたい。全体的に学内で買う人が多いけれど、4年生以上になると割合が均等になってくるのが興味深いね。「その他」には、自宅で作る、近所のお店などの意見が。



文京キャンパスのShop満天にて▶種類豊富なお弁当が並びますお昼休みはいつも満員!

Q5. お昼ご飯はどこで食べる？



Check!

4年生以上になると、それまで教室で食べていた人たちが研究室に行くようになるみたいだね。「その他」には、学生会館、サークル棟、図書館のラウンジなどの意見があったよ。



▲文京キャンパスのCafeteria味菜。人気の学食は、リーズナブルな上に栄養表示があるのも嬉しい

Pick Up!



工学部 材料開発工学科▶高分子合成研究室の皆さんのランチ風景先生と学生が仲良くご飯♪

Q6. あなたはうどん派？そば派？それともラーメン派？(in学食)



Check!

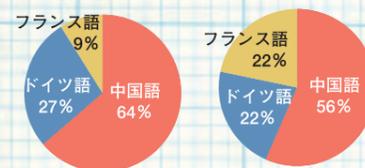
男性も女性もラーメンが人気です。ラーメンは味の種類が多くて飽きないよね。一方うどんは、とにかく安さが魅力！カロリーとお財布が気になる女性により人気があるのも納得…!?

今回は、「福大Life」と題して、福井大学生の生活に迫っちゃいます！学生広報スタッフが学生生活についてのアンケートを実施。文京キャンパス 461人、松岡キャンパス 109人の合計 570人の皆さんにご協力頂きました。(全学生約 5,240人に対し約 11%)今回は学校生活だけでなく、プライベートもピックアップ！福井大学生の実態はいかに!?早速、見てみましょう！

学校生活編

Q1. 第2外国語は何を選択してる？

【文京キャンパス】 【松岡キャンパス】



Check!

中国語が大人気！漢字が使われているから親しみやすいし、中国は急速に発展している国だから、将来性に期待できるよね。松岡キャンパスは中国語以外の割合も大きいね。

ドイツ語の授業を担当している工学部のエクハルト・ヒツェル先生に、ドイツ語をはじめ、語学を学ぶことについてのお話を伺いました。

Interview

(ドイツ語の魅力) 英語と言葉が似ていて、発音が規則正しいですね。
(好きなドイツ語のことわざ) Morgenstund hat Gold im Mund ≙ 早起きは三文の得
(福井大学生に一言) 英語と日本語は並行して勉強するといいですよ。英語・日本語同時訳の聖書は良いテキストになりますね。



Q2. もし留学できるならどの国に行きたい？

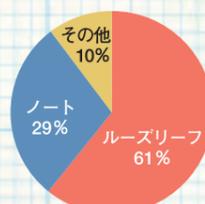
【文京キャンパス】 【松岡キャンパス】

- 1位 アメリカ
- 2位 イギリス
- 3位 オーストラリア
- 4位 イタリア
- 5位 ドイツ

Check!

英語圏の国で語学や文化を学びたい人が多いようだね。「スウェーデン/遊び」を取り入れた治療が発達しているから(医学部学生)のように、自分の専門に関わりのある国で勉強したい！って思いも伺えたよ。

Q3. 授業中のメモはノート派？ルーズリーフ派？



Check!

様々な講義がある福井大学生だから、講義ごとにノートを作るより、一枚一枚整理できるルーズリーフに軍配が上がったみたい。「その他」には、「レジュメにそのまま書き込む」や「授業中はメモを取らずに記憶する」という猛者も…(メモをとらないと忘れてしまう人は真似しないように！)





社員と交流のひと時。
仕事外の話に、花が咲くことも

「もの作り」で勝負していかなくてはならないのです。グローバルに飛び出そうとするとき、中国やベトナムなどの国々とのような勝負になるかを、知って挑むべきです。

ベトナム、中国などの国民には、一生懸命働けば、これからもっと国が豊かになるという「夢」があります。しかし日本は、便利な電化製品や、医療の進歩により生活水準が満たされている環境にあります。生活が豊かになりすぎたばかりに、手に入れたものはなくなり、夢や希望を見出しにくい状況に陥っています。それでも、日本人は、秩序を守ったり、精密さを追求したり、清潔を保ったりということが当たり前にできてしまう能力、DNAを持ち、これは世界に誇れるものです。この能力をフルに使って、何も無いところから、独自性を生み出すことが強く求められています。その点において、当社では繊維に高付加価値をつけたり、非繊維分野でもあるシリコン製品も開発しながら、世界のニーズに

「会社があるから人がいる」のではなく、「人がいるから会社がある」のだというところを、いつも社員に言っています。会社設立以来、リストラをしたことは一度もなく、とにかく社員が安心して働ける会社にと考え、繊維にとられず、「シリコン」という異業種も展開しながら、新しい可能性を探っています。社員には、常に「夢」を持って目標に向かって行動するように言っています。それと同時に、自分がその夢を諦めてしまったらどうなるかという不安感も併せて持つように言っています。この2つを持つと「やる気」になるものです。「夢」だけでは簡単に諦めてしまう場合がありますが、達成できなかった時の最悪の状況を想像すれば、やり遂げようと努力するはず。そして、どの世界でも同じですが、最後に「粘り」がないと勝てません。絶対に負けられないという根性と、自分を出るんだという自信をもつことが大切だと思います。

会社は人の成長により伸びる



↑LIFE BOAT 救命艇 (ボディ素材製造)
写真提供: (株)ニシエフ

→AIRPLANE BODY (素材製造) 試作段階
写真提供: JAXA、(株)カドーコーポレーション



企業のTOPから学生時代や新入社員のころのエピソードを伺い、仕事に対する姿勢などを、福井大学生へのメッセージとして届けます

大学生の君たちに
今、伝えたいメッセージ

株式会社SHINDO 代表取締役社長 新道忠志さん

グローバルに挑戦するという意味

映画監督になりたかった

本日は映画の脚本演出をする映画監督になるのが夢でしたが、両親は大反対、協力は得られず、自分で稼いで挑戦するよう言われました。稼ぐ方法を見つける為、ひと月ほど世界を旅することを思い立ち、ヨーロッパを巡りました。フランスの街を歩き、店のショーウィンドに飾られている美しい装飾のついた洋服を見て大変に感動し、戦後の日本には未だ少ない、洋服に個性を生み出す服飾の会社を立ち上げました。

世界に挑むというって

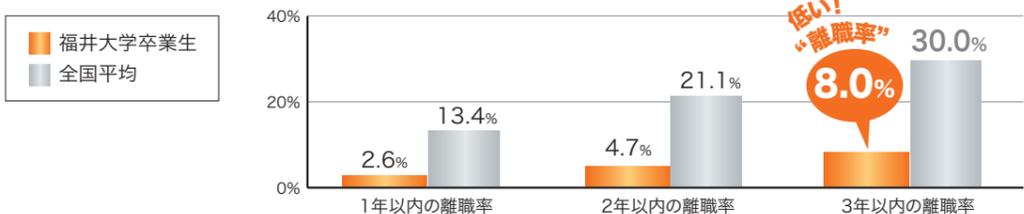
学生のみならずグローバル化について、どのようにお考えでしょうか？アメリカ、フランス、イギリス、日本などの資本主義国が、世界を謳歌していた1980年代に、中国は共産主義でありながら市場経済主義を取り入れました。これは、働けば働いた分の見返りがある、というものです。人口13億人の中国国民がそういう気持ちで働けば、経済は大きく成長します。

使用して、不自由を感じたことなど、ありますか？ おそらく、ちよっとした普段使いの程度では、特段困ることはないと思います。私は世の中にあるものについて、8割を一般的なものに占めて、残りの2割を特殊・特別なものや、高級品が占めているのではないかと思います。

現在、国会で問題になっている環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)は、まさに「グローバル化」を表したものです。国家という垣根は取り払われ、自由貿易がスタートすることになり、世界の波に呑まれないよう、日本が今後どう勝負していくべきなのか考えなくてはなりません。日本は世界でも賃金が高い国であり、それが、ものの値段に影響し、海外で作られた製品に価格で勝てなくなっています。結果、日本は、2割の特別な付加価値のあ

福井大学卒業生の高い「定着率」! ~企業から高評価~

就職先企業の質の高さや学生の社会人基礎力の高さから、在籍3年以内の離職率は8%と全国平均(30%)に比べ、非常に低い数字となっています。入職した福井大学生は、幹部候補生として長く活躍が期待されています。



就職支援室からのお知らせ

※日程、会場は変更になることがあります。ポスターもしくは就職支援室からの情報でご確認ください。

1月20日(金) 13:00~	講演会「産業・職業研究セミナー」 講師: 日本銀行福井事務所 事務所長 松原淳一	教)1号館 大2講義室
1月27日(金) 10:00~12:00、13:30~15:30	教育地域科学部企業説明会(参加企業60社) (2013年企業等への就職を希望する教育地域科学部・教育学研究科学生が参加)	総合研究棟I 大会議室
2月13日(月)~2月16日(木) 10:00~13:00、14:00~17:00	学内合同企業説明会(参加企業280社)4日間開催 (2013年企業等への就職を希望する全学生が参加)	総合研究棟I 大会議室

就職支援室では、キャリアカウンセラーによる進路相談・模擬面接などを毎日行っています。いつでも気軽にきて下さい。

【会社データ】株式会社SHINDO

従業員数
(国内グループ総数) 235名
(海外グループ総数) 538名
服飾副資材、産業資材、シリコンの3分野を柱に事業展開しています。国内はもとより、海外10拠点を含め、世界に類を見ない新しい商品開発に挑んでいます。



石塚工場 (福井労働局 快適職場推進計画認定事業場)

失敗や挫折を乗り越え さらなる成功へ

平成9年度教育学部情報社会文化課程卒業
福井テレビジョン放送株式会社 報道局

南谷寛郎さん



失敗した? 大学でのコース選び

福井テレビの報道部に勤務していますが、大学時代はマスコミ志望ではありませんでした。

臨床心理学を学びたいとの思いから教育心理学に実績がある福井大学に入り、社会科学系コースを選択しました。ところが、心理学を学ぶにはもう一方の情報系コースに進まなければならなかったのです。社会科学系では法律や経営、社会学を学ぶのに対し、コンピュータなどの情報系の方が心理学と結びつきの深い領域だったようです。正直、コース選びを失敗したなと思いました(笑)。

しかし、社会科学系コースの中でも心理学に近い学問はないかと気持ちを切り替え、社会心理学やマスコミ論などが学べる社会学を専攻しました。

そこで、コミュニケーションや対人関係の社会学を専門とする伊藤勇先生と出会いました。先生はよく「社会学とは常識を疑う学問だ」と、おっしゃっており、自分がめざす学問はこれだと、進むべき道が決まりました。

自分の理想の仕事求めて

3年生のときに参加した裁判所の就職説明会がきっかけで、非行や親権問題があるときに家族関係などを調べる



専門の職業があることを知り、家庭裁判所調査官や法務省の研究所で働きたいと思うようになりました。

在学中の受験も含め、3度挑戦しましたが叶わず、周りのすすめもあつて一般の企業に就職することにしました。

地元新聞社で9年間記者をしながら、見たことを自分が解釈して文書化する新聞から、よりリアルタイムでダイレクトな情報を伝える映像の仕事に挑戦したいと思うようになり、福井テレビへ転職をして6年目になります。

マスコミ業界を選んだのは、大学時代に伊藤先生から「社会を知るためにはジャーナリストが書



ジャズ研究会を正式サークルにするべく奔走した学生時代



社会のあり方や人の営みが伝わるよう心がけています

失敗を次へのステップに

社会学は、常識を疑う学問であると教わったことで、取材をするときに「これは本当に正しいのか?」と、別の視点から見ることができると、授業で分厚い専門書や洋書をたくさん読んでいたので、論理的な思考が身についたと思います。これは、すべての学問や業種に共通して社会で活かせることだと思います。

自分のやりたかった仕事に出会えたのは、少々つまづいてもそのたび軌道修正し、前進してきたからだと思います。学生時代には失敗したり悩んだりすることもありますが、そこに諦めない気持ちがあれば、自分の思いに近いことができるはずですよ。

役員コラム Fui's Voice 少子高齢化、黒船、そして未来

理事(研究・評価担当)・副学長

眞弓光文



学生の皆さん。今、わが国は重大な転換期を迎えています。転換を迫る国内要因は、世界に類を見ない急速な少子高齢化の進行です。今後30〜50年間で75歳以上の高齢者の数が2倍に増加する一方、出生数の低下で総人口は25%減少します。この過程で国内経済規模は縮小し、年金や健康保険等の社会保障制度を含む多方面で困難な事態が生じるでしょう。

国際要因としては、東南アジア諸国を中心とした新興国の発展や円高が挙げられます。日本企業の多くは生き残りをかけて生産拠点を海外に移しており、結果として、国際化が日本社会全体に及ぶと共に国内産業の空洞化が進行するでしょう。

これに環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への参加問題等を含めると、わが国を取り巻く現在の情勢はまさに黒船が来航して徳川幕府に開国を迫った頃の情勢に喩えられます。ただ、当時は社会に衝撃が走り、大混乱が生じた(「人々が問題を認識し、反応した」結果、明治維新という大変革が起きました)が、現在は、黒船が目に見えないためか上喜撰の効き目が落ちたのか、問題は先送りされ、日本社会は未だ泰平の眠りから覚めていないように思われます。



学生の皆さんには、このような社会情勢を認識し、厳しい状況下でも夢を実現できる実力を養うと共に、海外に打って出ることを厭わず、グローバル社会を生き抜く気概ある人に成長して欲しいと思います。夢を実現するには自分を表現し、相手に理解させる力が大切ですが、グローバル社会においては語学力、特に英語力が重要になります。皆さんの語学力を高める目的で設置した福井大学語学センターの活用や外国人留学生との交流など、様々な機会を利用して実力をつけてください。福井大学は皆さんの成長を全力で支援します。

保健管理センターから

保健管理センター 利用のススメ

保健管理センター 李鍾大

この時期の意外な盲点 食中毒

食中毒は、高温多湿となる夏期に、最も発生件数が多い。この時期以外も比較的危険と思われがちですが、冬の寒い時期も、実は食中毒に注意が必要です。

この時期に注意が必要なのは、「ノロウイルス」。牡蠣や二枚貝などの貝類が原因となるほか、感染したヒトの糞便や嘔吐物を介して経口感染(病原体が口を通じて消化管から侵入する感染)します。例としては、トイレのドアノブにウイルスが付着し感染することがあります。食中毒の症状は、嘔吐や下痢、発熱などで、ウイルスに感染した1〜2日後に



李先生(中央)と看護師の宮本さん(左)と大田さん(右)

現れることが多い。感染の予防や感染拡大を防ぐためには、うがい、流水・石鹸での手洗い(指先から手首まで)の徹底が効果的で、特に感染した人の手洗いの徹底が大事です。新年会シーズン、食中毒に注意しつつ、楽しい時間を過ごしましょう。

利用時間について

文京キャンパス 相談の予約は、事務室へお願いします。TEL.0776-27-8513

相談内容	相談日	受付時間
健康相談(内科医師)	月曜日~金曜日	8:30~17:00(予約制)
健康相談(精神科医師)	第1・3火曜日	10:00~12:00(予約制)
健康相談(婦人科医師)	第4木曜日	15:00~17:00(予約制)
カウンセリング(臨床心理士)	月曜日~金曜日	8:30~17:00(予約制)
一般相談(看護師・保健師)	月曜日~金曜日	8:30~17:00

松岡キャンパス 相談の予約は、事務室へお願いします。TEL.0776-61-8575

相談内容	相談日	受付時間
健康相談(内科医師)	第1・2・3金曜日	15:00~17:00(予約制)
健康相談(整形外科医師)	第2・4火曜日	16:00~17:00(予約制)
健康相談(産婦人科医師)	第1・3水曜日	16:00~17:00(予約制)
健康相談(精神科医師)	第1・3水曜日	17:00~18:00(予約制)
カウンセリング(臨床心理士)	月曜日~金曜日	9:30~17:00(予約制)
一般相談(看護師・保健師)	月曜日~金曜日	9:00~17:00

学生の皆さんへ

毎年4月には
定期健康診断があります。
必ず受診しましょう。

※健康診断日程の対象学年は平成24年4月以降の学年です。

● 文京キャンパス 4月4日(水)・・・学部4年、大学院2・3年

4月5日(木)・・・学部2・3年

● 松岡キャンパス 5月の予定(詳細な日程は未定)

● 健康診断の詳細についてはこちらから <http://www.u-fukui.ac.jp/~hoken/>

TOPICS*1

第一弾！学生による学生のための講演会
松永真樹氏(株)GLOBE代表取締役講演会

11月18日、学生団体「福大「OVERS」が主体となり、福井大学生による、本当に学生のためになる講演会を開催しました。第一回は松永真樹氏を講師に迎え、主に学部3年生を対象に「就職活動を生き抜く秘訣」について講演していただきました。松永氏は、学生時代に日本一周&世界50カ国を放した経験があり、年間100回以上の講演会で人生の岐路で悩む人たちに自由



電飾を光らせながら講演をする松永氏



学長と懇談

な考え方、楽しく生きる方法などをコミカルに伝えています。この講演会は、学生スタッフが企画、運営を全て行い、多くの学生に松永氏のメッセージや考え方に触れてほしいという思いから松永氏への講演を依頼しました。学生たちが今後の人生プランを考える上で、悩みが解決する糸口を見つけ出し、自分の無限の可能性を自らに向けてもらう講演会となりました。

第二弾！ 学生による学生のための講演会
茂木健一郎氏講演会

- 日時 平成24年1月23日(月) 16:30~18:00
- 場所 文京キャンパス 総合研究棟1 13階大会議室
松岡キャンパス 講義棟 2階 中3講義室
(TV会議システムで中継)
- 講演者 ソニーコンピュータサイエンス研究所
シニアリサーチャー 茂木 健一郎氏
- 講演テーマ 「グローバル社会における福井大学生へのメッセージ」



TOPICS*3

ご存知ですか？
いろいろあります！貸し出し物品

主に学生の課外活動用に、両キャンパスで貸出物品を用意しています。サークル活動で使いたい、休日にバーベキューを楽しむなど、目的に応じてさまざまな物品を借りることができます。文京キャンパス、松岡キャンパスのみで用意しているものもありますが、相互貸出も可能なほか、教職員も借りることが可能です。早期予約、急な貸出にも可能な限り

- 文京キャンパス 学生サービス課学生企画係 (0776-27-8403)
- 松岡キャンパス 松岡キャンパス学務室学生係 (0776-61-8266)

大切に
使って下さい

対応します。まずは気軽に左記へ問い合わせてください。

キャンブ・野外活動関係

- テント(5人用・6人用)
- シュラフ
- クーラーボックス
- バーベキュー台
- 鉄板
- 網
- 給茶器
- はんごう
- 鍋類(鍋・やかん・フライパン・ポウルなど)
- 調理器具(包丁・まな板・コッヘル・おたまなど)
- 食器(フォーク・スプーン・ゆのみなど)

その他

- ビデオカメラ
- 拡声器
- 空気入れ
- スポットランプ
- ヘッドランプ
- ブルーシート
- デッキブラシ
- 掃除用具(ほうき・ちりとり)
- バケツ
- 長靴(メンズ)
- 採取用網

※これは一部です

イベント関連

- 天幕
- パネル(板・足・固定具)
- パネル(キャスト付)
- 暗幕
- 音響装置(スピーカー・アンプほか)
- 移動ステージ 120×120×39cm
- マイク・マイクスタンド
- マイクスタンド
- 電源ドラム
- 折りたたみ長机
- 折りたたみパイプ椅子

スポーツ関係

- 野球用具(グローブ・バット・ボール)
- ソフトボール用具
- ベース
- キャッチャーマスク
- テニスラケット
- テニスボール(硬)
- テニスボール(軟)
- バドミントンラケット
- 卓球ラケット
- スキー用具
- スノーボード用具

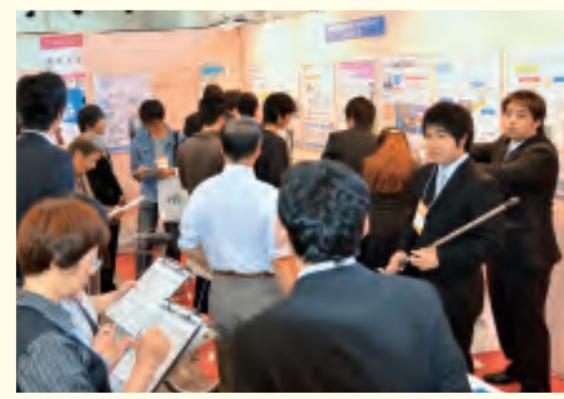
* TOPICS INFORMATION *



TOPICS*2

北陸技術交流 テクノフェアに
産学官連携本部が出席

10月20日、21日の両日、福井県産業会館で開催された「北陸技術交流 テクノフェア2011」に産学官連携本部が中心となり学生や研究員、教員の研究シーズを出展しました。本学では大学院工学研究科博士前期課程の学生を対象にMOT(Management of Technology)技術経営カリキュラムを実施しています。このカリキュラムでは技術者に必要とされる経営基礎知識を身につけることができ、ものづくりの現場で必要とされる発想力や創造力を活かしながら、実際に試作品を作るなどの実習をしています。今回の展示では、MOTで学んだ8チームが生活に身近なものにアイデアと地域の匠



テクノフェアブース

の技術を融合させて完成した試作品を紹介しました。シャワーカーテンの乾燥を効果的にできるように改良した「縦型ブラインド式シャワーカーテン」や自転車でパソコンを持ち運ぶ際に起こる振動を押し返すために、荷台部分に防振機能を付加した「パウンドキャリア SASU」など、学生の日常の生活で感じた不便さを解消するアイデアが取り入れられています。また、研究シーズでは、和ろうそく特有の炎のゆらぎや色をLEDで再現し、越前和紙とコラボレーションした行燈や、トマトやキュウリといった果菜類を栽培できるLED植物栽培装置などユニークな製品が紹介されました。



テクノフェア外観

TOPICS*4

松岡キャンパスに生協売店
「SHOP PLUM」がオープン！

松岡キャンパスの生協が運営する食堂「CATERIA PLUM」に隣接して、12月9日、売店「SHOP PLUM」がオープンしました。環境に配慮したLED照明や省エネルギーの冷蔵庫が取り入れられ、色も白を基調に緑のモザイクタイルが施された、すっきりとしたデザイン。コンパクトな店内には、パンやお弁当、飲み物、お菓子が整然と配置され、文具や生協の提供するサービスのパンフレットも提供されています。オープン初日には、多くの学生が訪れました。営業時間は、平日8時30分から17時まで。



オープンした「SHOP PLUM」

TOPICS*5

クラシックの美しい調べで綴る
卒業記念前夜祭

福井大学イメージミュージック、イメージソングの作曲者笠松泰洋氏を迎え、昨年好評だったクアルテット・エクセルシオをゲストに今年も卒業記念前夜祭を開催します。学生は入場無料。詳しくは、事務局経営戦略課(0776-27-9923)までお問合せください。とき 3月22日(木) 18時開演
ところ 福井市文化会館



笠松泰洋



大宅さおり



クアルテットエクセルシオ

* TOPICS INFORMATION *



2012

あなたの宣言 教えてください

今年はどんな一年にしたいですか？
2012年、あなたの宣言を教えてください。

応募方法

QRコードからご応募ください。
締切は2/29です。ご応募くださった方の中から抽選で5名様に、**くだものなどをモチーフにしたD-CLIPS**をプレゼント！



(実物とは異なる場合があります)

みなさまからのご応募、お待ちしております！

ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの送付及び、お問い合わせ・ご意見をいただいた際のご連絡に使用させていただきます。

大学「豆」知識「PBL」ダイガクノコトバ

PBLは、プロジェクトに基づく学習「Project-Based Learning」や問題に基づく学習「Problem-Based Learning」と呼ばれています。一般的に問題基盤型学習と言われ、学生が中心となり、身近に感じる具体的な事象から問題や課題を見つけ、チームワークでその問題を学習したり、ディスカッションしながら問題解決したりしていきます。この教育手法によってコミュニケーション能力や自己学習能力が身に付いていくとされ、工学部や医学部では実践している授業があります。

Project-Based Learning
Problem-Based Learning

twitter始めました!



福井大学広報センター

@fukudai_koho

お気軽にフォローして下さい!

●表紙について

撮影場所：医学図書館情報工房
11月30日に学生さんたちの新しい活動の場として完成しました。
グループ活動などに利用できます。



医学部「FEAL」は、ボランティア、国際医学生連盟に参加する活動などに取り組むサークルです。医学部医学科5年の木村真規子さんと3年の辻沙織さんは2011年の夏、国際医学生連盟の交換留学制度を利用して、それぞれドイツとオーストリアに留学。また、同じく3年の太田真見子さんと古川由貴さんは、今夏、交換留学する予定です。辻さんの留学報告は、大学ホームページ「FACE」のコーナーに掲載しています。ぜひご覧ください!

「FEAL」メンバー

医学部医学科5年 木村真規子(きむらまきこ)さん 医学部医学科3年 古川由貴(ふるかわゆき)さん
医学部医学科3年 辻沙織(つじさおり)さん 医学部医学科3年 太田真見子(おおたまみこ)さん

ふくだいプレス 第8号

発行日/平成24年1月 発行者/福井大学広報センター広報誌編集専門部会

編集後記



新年スタートしましたね。みなさんは新年をどのような気持ちで迎えましたか？そして何を宣言しましたか？焦らずゆっくり、今できることにトライ。少しずつ目標に近づく喜びを実感していけるといいですね。

目が前向きについているのはなぜだと思う？
前へ前へと進むためだ。

—「ドラえもん」藤子・F・不二雄—

Editor's note